

## JCC2015 共催 東北三県勉強会 報告

### ■実施背景・目的：

東日本大震災を受けて仙台開催が決まった「第3回国連防災世界会議」は、自治体レベルだけでなく、市民・民間サイドでも広く東北各県の団体と連携・協力しながら開催することが期待されています。しかしながら、仙台市内も含め、会議の存在自体やパブリックフォーラム（セミナー・シンポジウム、ブース出展など）についてもほとんど認知されていません。企画応募×切前のタイミングで全体像や参加方法を周知する必要性を感じ、東北三県でのイベントを行いました。

### ■「防災世界会議に向けて in 福島 ～福島の声の世界に発信～」

日時：2014年8月4日（月）17:00～19:00

会場：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター棟 2F 大会議室

共催：ふくしま連携復興センター／福島大学うつくしまふくしま未来支援センター／  
ふくしま地球市民発信所／ザ・ピープル／2015 防災世界会議日本 CSO ネットワーク

参加：23 団体 38 名

### ■ 国連防災世界会議@仙台 活動団体向け説明会

日時：2014年8月11日（月）13:30～15:30

会場：仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール

共催：防災からまちづくりを考える実行委員会／2015 防災世界会議日本 CSO ネットワーク

参加：40 団体 66 名

### ■「第3回国連防災世界会議 in 仙台」に向けた活動団体向け勉強会 @岩手

日時：2014年8月19日（火）13:30～15:30

会場：陸前高田市小友地区コミュニティセンター

共催：いわて連携復興センター／2015 防災世界会議日本 CSO ネットワーク

参加：22 団体 29 名

### ■内容：

- ・国連防災世界会議の概要と、日本と世界の防災への取り組みについて
- ・第6回アジア防災閣僚級会議での福島からの参加者の活動について（8/4 福島）
- ・仙台でのパブリックフォーラム、テーマ館の紹介と東北での動きについて
- ・各団体の参加方法について

### ■当日の様子：



原発事故の被害という特徴を持つ福島、ホスト都市である宮城・仙台、そしてホスト都市から物理的な距離がある岩手と、それぞれに仙台会議への関心度やテーマにも違いがあることも意識した上で、各回とも JCC2015 の幹事団体など各県内の団体との共催で実施しました。参加したほとんどの団体が仙台会議の全体像を耳にするのは初めてで、各県内以外の遠方からも参加が多かったことを含めて、東北各地でも会議本番に向けて動き出すきっかけのイベントとなりました。